

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公表番号】特表2011-503110(P2011-503110A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533331(P2010-533331)

【国際特許分類】

C 07 C 235/40 (2006.01)

A 61 K 31/16 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 235/40 C S P

A 61 K 31/16

A 61 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月16日(2011.8.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

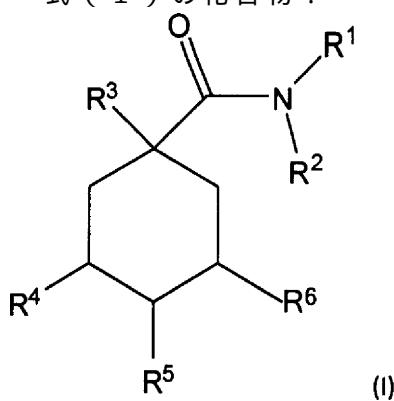
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

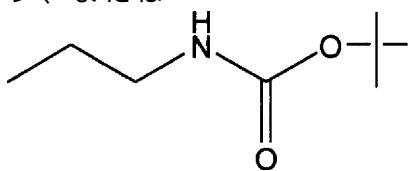
【請求項1】

式(I)の化合物：



式中、

R¹およびR²は、各々独立して、水素、直鎖もしくは分岐鎖アルキル、シクロアルキル、アリール、ベンジル、アリールアルキル、ヘテロ環式アミン、アミノアルキル、ケトン、または



であり、かつ

R³、R⁴、R⁵、およびR⁶は、各々独立して、水素またはヒドロキシルである。

【請求項2】

R¹が水素であり、R²がアルキルであり、かつR³、R⁴、R⁵、およびR⁶が、各

々、ヒドロキシルである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

R^2 が $-C_3H_7$ である、請求項 2 記載の化合物。

【請求項 4】

R^1 がシクロヘキシルである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 5】

R^1 がアミノアルキルである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 6】

治療有効量の請求項 1 記載の化合物を含む、ヒトまたは動物対象において抗炎症効果を引き起こすための薬学的組成物。

【請求項 7】

請求項 1 記載の化合物が、 R^1 が水素であり、 R^2 がアルキルであり、かつ R^3 、 R^4 、 R^5 、および R^6 が各々ヒドロキシルである化合物である、請求項 6 記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

抗炎症効果が NF- κ B 活性の阻害である、請求項 6 記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

抗炎症効果が白血球接着の阻害である、請求項 6 記載の薬学的組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

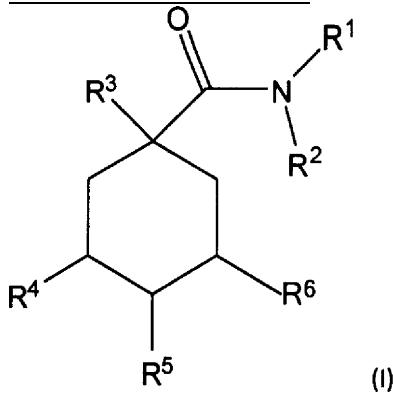
【補正の内容】

【0008】

本発明の別の局面は、治療有効量の式 I の化合物をヒトまたは動物へ投与する工程を含む、ヒトまたは動物において抗炎症効果を誘発するための方法である。一局面において、ヒトまたは動物において抗炎症効果を誘発するための方法は、式 I の化合物をヒトまたは動物へ投与し、細胞の NF- κ B 活性を低下させる工程を含み得る。別の局面において、ヒトまたは動物において抗炎症効果を誘発するための方法は、式 I の化合物をヒトまたは動物へ投与し、白血球接着を低下させる工程を含み得る。

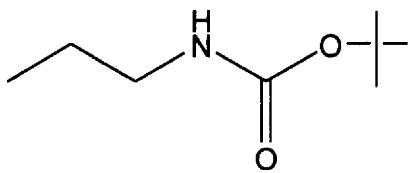
【請求項 1001】

式 (I) の化合物：



式中、

R^1 および R^2 は、各々独立して、水素、直鎖もしくは分岐鎖アルキル、シクロアルキル、アリール、ベンジル、アリールアルキル、ヘテロ環式アミン、アミノアルキル、ケトン、または



であり、かつ

R³、R⁴、R⁵、およびR⁶は、各々独立して、水素またはヒドロキシルである。

[請求項1002]

R¹が水素であり、R²がアルキルであり、かつR³、R⁴、R⁵、およびR⁶が、各々、ヒドロキシルである、請求項1001記載の化合物。

[請求項1003]

R²が-C₃H₇である、請求項1002記載の化合物。

[請求項1004]

R¹がシクロヘキシルである、請求項1001記載の化合物。

[請求項1005]

R¹がアミノアルキルである、請求項1001記載の化合物。

[請求項1006]

治療有効量の式(I)の化合物をヒトまたは動物対象へ投与して、ヒトまたは動物対象において抗炎症効果を引き起こす工程を含む方法。

[請求項1007]

式(I)の化合物が、R¹が水素であり、R²がアルキルであり、かつR³、R⁴、R⁵、およびR⁶が各々ヒドロキシルである化合物をさらに含む、請求項1006記載の方法。

[請求項1008]

抗炎症効果がNF-κB活性の阻害である、請求項1006記載の方法。

[請求項1009]

抗炎症効果が白血球接着の阻害である、請求項1006記載の方法。